

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 高等部

『伝えるために必要な内容を考えて一年間の思い出の話をしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・高等部1年生 女子(1・2・3年生 男子2名 女子2名の学習グループ)
- ・視覚優位のため、指示を伝えるときは、内容を書いて提示すると、理解しやすい。
- ・「値段はいくら」と尋ねると「わからない」と答える、値段が金額を表しているといったことばの意味を知らないことがある。
- ・「休みの日になにをしましたか」と尋ねると、「ラーメン食べた」(物+活動)と答える。

そこで本題材では以下の望む姿を設定した。

→「いつ」「場所」「人」「活動」などの視点を入れて話すと、相手に詳しく伝わり、自分から必要なことばを入れて、相手に伝わりよう詳しく話せるようになってほしい。

2. 教材の概要 『1年間の思い出アルバム』

- ・校外学習などの行事の写真を見て、人、場所、活動などの視点を入れて友だちに詳しく話し、友だちが聞いた内容の写真を選ぶことで自分で詳しく話せたかどうか確かめができる仕組みの教材。

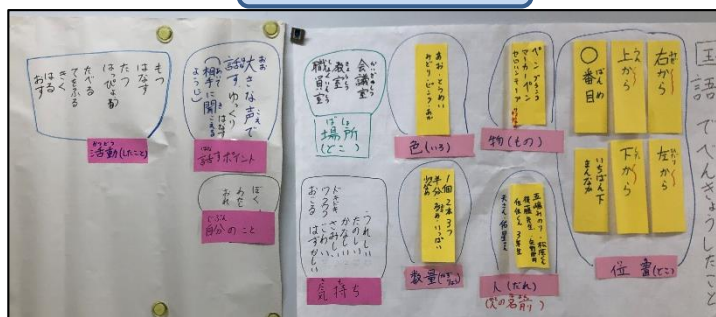
3. 授業のポイント

ポイント1 自分から進んでことばを選ぶための工夫

【自分から進んで視点とそれに沿ったことばを入れて話すにはどうすればよいか？】

- ・生徒たちが学習したり、発言したりしたことばを視点ごとに分類し、掲示することで自分から確認するようになり、ことばが増えることで達成感を感じ、興味を持つことができるようにした。

してんくん



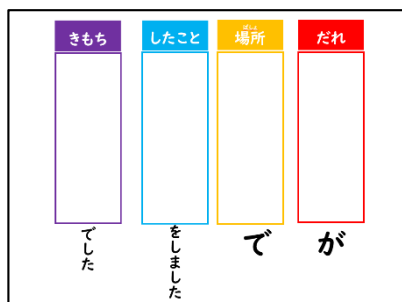
使い方と働きかけ

- ・生徒たちから出たことばを視点ごとに分類し、いつでも見れるように掲示する。
- ・話す内容を考えるときに、最初に、一緒に表を確認し、表の使い方を使うよさを理解できるように働きかける。

授業構想チェックシート 意欲チェック 5. 学習環境: 教具について ⑩⑭

ポイント2 自分で話す内容を考えるための工夫

はなシート



使い方と働きかけ

- ・話をする際、「ラーメン食べた」と助詞がないことがあるため、『はなシート』の各視点ごとの枠にことばを当てはめて作成するようにした。また、話すことを繰り返して話し方を覚えるようにした。その際、理解度に応じて『色あり』『色なし』『枠なし』と、段階的に指導した。
- ・『一緒に考える』→『ことばかけ』→『自分で』の順で教師の働きかけを少しずつ減らしていった。

授業構想チェックシート 意欲チェック 5. 教具について: 教具について ⑦⑩⑪